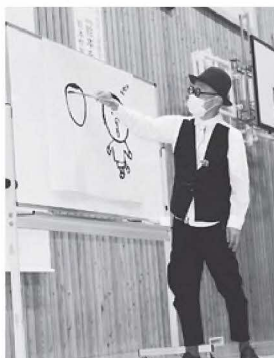
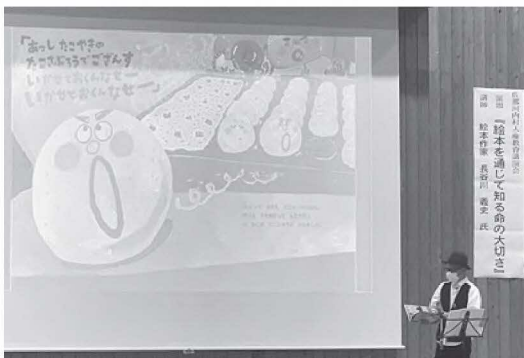


11/20(土) 人権教育講演会を開催しました

今回は、絵本作家の長谷川義史さんに「絵本を通して知る命の大切さ」と題し、ご講演いただきました。

長谷川さんの著書「たこやきのたこさぶろう」の読みきかせの時には、会場内は笑い声であふれました。ユーモアの中にも、「人はそれぞれ他人には分からない悩みを抱えているけれど、生きているうちにさまざまな人に出会い、誰かの一言で人生が変わることもあります。自分では短所だと思っても、人から見たら長所という場合もあります。自分に自信を持ち、いろんな生き方を尊重していけるといいですね。」というメッセージを伝えていただきました。



その他にも、「おおにせせんせい」や「へいわってすてきだね」などの読みきかせや、ウクレレを演奏しながらの歌、その場で絵を描きながらエピソードを展開していくライブ紙芝居など内容盛りだくさんで、小・中学生から大人までみなさんが楽しめ、そして長谷川さんのメッセージが心に響く1時間でした。

佐那河内人権教育研究協議会・佐那河内村教育委員会



- 佐那河内村立図書館（農振センター3階）
- 開館時間 / 平日 9:00～12:00 13:00～17:00
- 閉館日 / 土・日・祝日・年末年始
- お問い合わせ 教育委員会 図書館担当

11/27(土) 徳島県読書振興大会の開催 ～村立図書館再開の取組を発表～

「人から人へ、未来へつながる読書活動」を大会テーマに、令和3年度徳島県読書振興大会を徳島県読書振興協議会、佐那河内村、佐那河内村教育委員会が主催し、県立二十一世紀館で開催しました。

事例発表では、村教育委員会とふみの会の丸井明さんとで「人と人をつなぐ読書活動～村立図書館再開の取組～」をテーマに、

村立図書館再開の取り組みや、「ふみの会」の読書活動について発表しました。

また、元高知県梶原町長の矢野富夫さんを講師にお招きし、「梶原町の生きる仕組みづくり～人と本をつなぐ わくわくする図書館づくり～」と題してご講演いただきました。図書館がなかった町にゼロから図書館をつくった経緯や、わくわくする「雲の上の図書館」に込めた想いなどについてお話しいただきました。

大会には県内の読書振興に携わるみなさんに参加していただき、引き続き村立図書館の運営や読書活動に頑張っていこうと改めて決意しました。みなさまのご理解・ご協力をお願いします。

